

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	トータル・ギア	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：トータル・ギア

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

番

研磨剤

比較対照ボール：ギア・エス

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

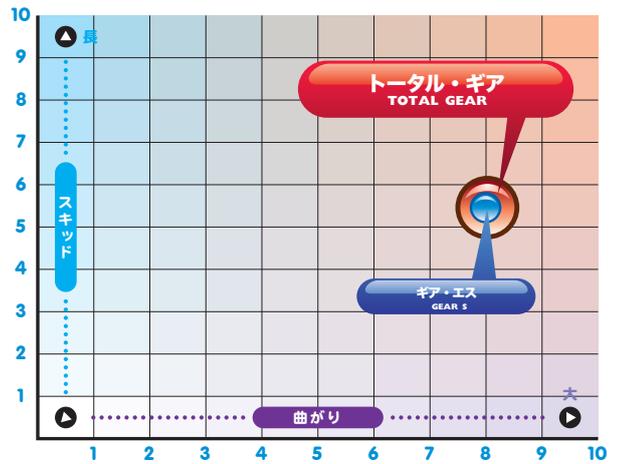
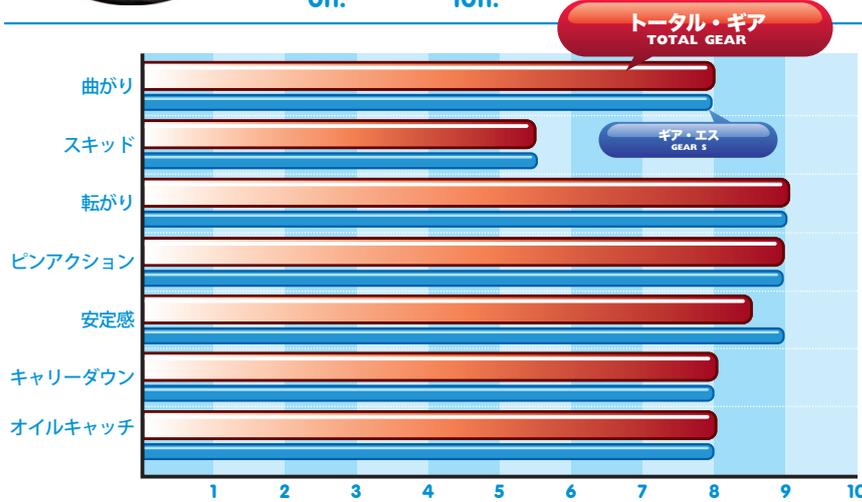
4-1/2

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ABS独自の市場調査で多くのユーザーが900Global社に最も期待するボール。それがGEARシリーズでしょう。特にGEAR Sは男女プロアマに絶大な人気を誇り、多くのユーザーがメーカー完売後も各ショップに問い合わせが多かったボールです。今回のTOTAL GEARは配色は違えどGEAR Sと同じスペックで発売するのが開発コンセプトで、皆様が望んだボールの発売。それがTOTAL GEARの最大の武器であり、ニーズだと思えます。

GEAR Sから続くこのスペックに求めるものは、DREAMから始まりGEARシリーズとなってもこのシリーズ共通のパワーユニットのIdentity Asymmetricコアと、900Global社ではほぼ中心的な基準値の役割を担うS74Response Pearlカバーストックの組み合わせからできているという事です。Identityコアがもつ動力とS74Response PearlカバーストックはS74領域でありながらTour Engineerd 900 Seriesという900Global社で一番上位の領域をカバーするボールでの発売ですが、その中でも走りとグリップ力のTOTALバランスが見事と表現する以外なく、ブレイクポイントまで非常に強く、よりシャープに角度のあるバックエンドが得られる設定です。

テストングはGEAR Sと行いましたが、コアテクノロジーとカバーストックが同等で配色違いですが、投球したイメージはGEAR Sの方がややスキッドが長くバックエンドが柔らかくキレるのに対し、TOTAL GEARはGEAR Sよりほんの少し角が見え隠れるような動きの違いはありました。板目の換算は同じなのですが、奥の動きが双方若干異なるので、コンディション次第でやや対応は異なるでしょう。ピンキャリーに関しては双方柔らかく絡むアクションで上位に位置するレベルだと感じました。

特記事項

待望のGEARシリーズの最新作を待ちわびた方も多い事でしょう。このTOTAL GEARをもち、存分に暴れてください！